

# 2019 年度

## 中国留学報告書

留学先 ; 北京師範大学

実習期間 : 8月26日 (月) ~ 12月28日 (土)

新潟国際情報大学

国際学部 国際学科

学籍番号 : 21018095

樋口真矢

## 目次

1	留学先及び留学期間	3
2	留学先概要	3
3	留学目的	3
4	留学内容	4
	4-1 留学スケジュール	
	4-2 留学の詳細	
5	当初目的・目標への達成度	5
6	反省・課題	6
	謝辞	6

## 付録

	留学日誌	7
--	------	---

## 1 留学先及び留学期間

留学先     :     北京師範大学  
留学期間   :     令和1年8月26日（月）～ 令和1年12月28日（土）  
              :     ※帰国は12月28日（土）

## 2 留学先概要

### (1) 大学について

北京師範大学は、中華人民共和国北京市新街口外大街に所在する。北京市は人口が約2,154万人で、中国の経済に大きな影響を与える都市の一つである。北京師範大学は百年余の歴史を持ち、国家重点投資建設校に指定されている。また、北京四大大学のひとつでもある。北京師範大学は主に学校教育に力を入れており、約30の学部、10個の研究所があり、本科生が10,260人、研究生が12,891人、長期留学生約1600人を受け入れている。図書館内に収蔵されている本は約465万冊、電子書籍が約809万冊という規模の大きさを誇る。他にも大学内には体育館、食堂、留学生寮などの設備が完備されている。

### (2) 大学で行われている教育について

北京師範大学は多くの留学生を受け入れており、自分の中国語の能力に合わせたクラスで授業を受けられる。クラスは1クラス15人ほどの少数人数である。授業は、リーディング、リスニング、スピーキングの三教科があり、集中して学ぶ環境が整えられている。他にも週1回、中国文化を学ぶ中華才芸という授業があり、中国習字や切り絵、絵画や茶についての授業を受けることができる。

## 3 留学目的

今回の留学の目的は、中国語スキルの向上、留学を通して様々な人と出会い、視野を広げ、異文化を理解することである。日本で中国語の勉強をするだけでは得られなかった、リスニング力やスピーキング力を身に着けるために中国留学が適切であると考えた。また、実際に中国に行き、現地の状況を理解することが異文化理解につながると考えた。そのため、多くの異文化に触れようと進んで交流を試みた。

## 4 留学内容

以下から研修の内容を記述する。

留学期間中に行った活動の詳細は付録に記載する。

### 4-1 留学のスケジュール

留学期間中のスケジュールは以下のとおりである。

月	日(曜日)	午前	午後
8	26 (月)	出国	到着、入寮
	27 (火)	銀行口座開設	Wi-Fi 登録
	28 (水)	銀行口座開設	携帯電話購入
	29 (木)	クラス分けテスト	
	30 (金)	留学生入学式	
9	1 (日)	クラス分け発表	教科書販売
	2 (月)	授業開始	
	13 (金) ~15 (日)	中秋節 (休暇)	
	14 (土)	日中交流会	
10	16 (月)	成績評価開始	
	1 (火) ~7 (月)	国慶節 (休暇) 内モンゴルツアー	
	31 (木) ~1 (金)	中間考査	
11	3 (日) ~8 (金)	文化考察 安徽	
12	1 (日)	HSK	
	23 (月) ~24 (火)	期末考査	
	27 (金)		卒業式
	28 (土)	帰国	

## 4-2 留学の詳細

スケジュールに記載してある各項目の内容は以下のとおりである。

### i) クラス分けテスト

個人のレベルに合わせたクラスを編成するために行われるテスト

### ii) 日中交流会

北京師範大学で日本語を専攻している大学二年生の中国人との交流会。

### iii) 内モンゴル旅行

希望制で参加でき、ラクダに乗ったり、ゲルに宿泊したりすることができる。

### iv) 中間考査

リーディング、リスニング、スピーキングの三教科の試験が二日間に分けて行われた。

### v) 文化考察

汉语学院主催である中国の歴史や文化を学ぶための研修。今回は安徽に行き、黄山などの世界遺産やミュージアムに行った。現地の郷土料理なども食べた。

### vi) HSK

漢語水平考査。中国の教育部が認定する国際的な中国語の語学検定試験。

## 5 当初目的・目標への達成感

今回の留学の目的の達成度について、それぞれまとめる。

### i) 中国語力の向上

留学前と留学後の中国語を使った意思の疎通を比べると、実力の伸びを確認できた。授業を受けるたび、先生や学生が話している意味が分かるようになる。言いたいことも伝えられるようになり、自信を持てた。今後はそれに満足することなく、中国語の勉強を継続していく必要がある。

## ii) 異文化を理解すること

外国人として生活することや、様々な国からの留学生と交流することで自然と異文化を理解することが出来た。食べ物の違いや生活習慣の違い、考え方の違いなどを見つけ、順応していくことが、異文化理解に少しずつ近づいていった。

## 6 反省・課題

今回の留学で非常に多くのことを学ぶことができた。自国を飛び出し、知らない土地で外国人という立場で生活することの困難を含め、大変有意義な時間を過ごすことができた。今回の留学で学んだことを今回きりで終わりにすることなく、中国語の勉強を続けていく。また、中国の文化や日本と異なっていた点も異文化理解として学んだが、これからも理解を深めていく。情報に固執することなく、自分で意見を持ち、物事を考え視野を広げることも今後大切にしていきたい。

## 謝辞

留学前から留学中、そして帰国の際も終始懇切丁寧な指導をし、支えてくださった區先生、佐藤若菜先生に深く感謝申し上げます。また、北京師範大学にて留学をサポートしてくださいました羅さん、その他関係者の皆様に心より感謝いたします。新潟国際情報大学からいただきました奨学金により、本留学への参加が実現いたしました。大変有意義であり、貴重な体験ができたことを、心から感謝いたします。

## 付録：留学日誌

8月26日（月）午後
出発
内容 ・新潟空港にて佐藤先生と合流 ・14：05～15：20 新潟―成田 飛行機で移動 ・18：20～21：20 成田―北京 飛行機で到着 ・空港から北京師範大学までバスで移動

### 移動の所感

北京師範大学への到着時間が遅かったが、移動に関してはスムーズであった。

8月27日（火） 28日（水）
銀行口座開設、携帯電話購入
内容 ・中国銀行の口座の開設、また携帯電話の購入

### 銀行口座開設と携帯電話購入の所感

銀行口座の開設も携帯電話の購入も時間がかかるため大変だった。携帯電話を購入する際かかった費用は1000元（約17,000円）で比較的安い。中国は電子マネーが普及しているので、銀行口座と携帯があるととても便利であった。

8月29日（木）
クラス分けテスト
内容 ・個人の能力に合わせたクラスを編成するためのテスト

### クラス分けテストの所感

筆記試験と口頭試験があり、筆記試験ではリスニングや選択問題、長文などの問題があった。口頭試験では先生二対学生一での試験だった。テスト用紙や注意事項が知らされる際も全て中国語だったため戸惑った。

また、今回の授業の一週間のスケジュールは以下のとおりであった。

	月	火	水	木	金
1限		スピーキング		スピーキング	
2限	リーディング	リーディング	リスニング	リーディング	スピーキング
3限	リスニング				リスニング
4限		中華才芸			

(クラスメイトとの写真)





10月31日(木)～11月1日(金)
中間考査
内容 ・1日目 リーディング、スピーキング ・2日目 リスニング

中間考査の所感

授業をしっかりと理解し、復習を行うことが重要であった。

11月3日(日)～8日(金)
文化考査
内容 ・安徽へ行き中国文化を学ぶ

文化考査の所感

安徽にある黄山は世界文化遺産に指定されており、大変有名な場所である。寝台列車での移動から始まり、様々な博物館や場所を訪れ、竹を文字になぞって掘ったり、和紙を作る体験をしたりした。また、漢語文化学院の生徒や外国人留学生と行動を共にしたため、新しい交流が沢山でき、有意義な時間を過ごすことができた。



(行動を共にした留学生)

12月23日(月)～24日(火)
期末考査
内容 ・23日 リーディング、スピーキング ・24日 リスニング

期末考査の所感

中間考査よりも難易度が少し上がったように感じたが、日々の復習を行えば問題のないテスト内容であった。テスト形式に関しても中間考査とほぼ変わらなかった。